

心温かい人々が暮らす町

インターネット どんないことが人権侵害になるの？



インターネットでは、自分の名前や顔を簡単には知られることなく発言することができます。そのため、匿名性を悪用した人権侵害が発生しています。最近では、いじめなどの事件をきっかけに、インターネット上に、不確かな情報に基づき、その事件の関係者とされる人たちの個人情報を書き込みがされたり、誤った情報に基づいて全く関係のない人たちに誹謗中傷（根拠のない悪口や嫌がらせ）する書き込みがされたりしています。インターネットでは、いったん掲示板などに書き込みを行うと、その内容がすぐに広まってしまいます。また、その書き込みをネット上から完全に消すことは容易ではありません。誹謗中傷や他人に知られたくない事実、個人情報などが不特定多数の人々の目にさらされ、そのような情報を書き込まれた人の尊厳を傷つけ、社会的評価を低下させてしまうなど、被害の回復が困難な重大な損害を与える危険があります。また、このような人権侵害は、名誉毀損等の罪に問われることもあります。

◇インターネット上の人権侵害を防ぐには？

インターネットを利用するときも、直接人と接するときと同じようにルールやモラルを守り、相手の人権を尊重することが大切です。お互いの顔は見えなくても、インターネットでつながった先にいるのは、心をもつ生身の人間であるということを忘れずにコミュニケーションをとりましょう。インターネットは発信者が特定できないわけではありません。後述する発信者情報の開示請求手続等により、発信者を特定できる場合もあります。匿名の書き込みであっても、その内容には責任を持つ必要があるということをおぼえておきましょう。

◇インターネット上の人権侵害を防ぐために

- ・他人を誹謗中傷する内容を書き込まない
- ・差別的な発言を書き込まない
- ・安易に不確かな情報を書き込まない
- ・他人のプライバシーに関わる情報を書き込まない
- ・書き込みが不特定多数の人に見られる可能性があるということ意識する



◇インターネット上で人権侵害があったときは？

インターネット上に自分の名誉を毀損したり、プライバシーを侵害したりする情報が掲載されても、発信者がだれか被害者には分からないことが多いため、被害を回復することは困難です。掲示板やSNSであれば、被害者は、その運営者（管理人）に削除を求めることができます。さらに「プロバイダ責任制限法」という法律などにより、被害者は、プロバイダやサーバの管理・運営者などに対し、人権侵害情報の発信者（掲示板やSNSなどに書き込んだ人）の情報の開示を請求したり、人権侵害情報の削除を依頼したりすることができるようになっています。開示請求や削除依頼を行う際には、証拠として保存するために、メールや文書で行うとともに、誹謗中傷等にあたる書き込みや動画などが掲載されている掲示板のURL やアドレスを控え、該当する画面や動画は、保存しておきましょう。

◇人権侵害で困ったときは？

法務省の人権擁護機関では、インターネット人権相談受付窓口やみんなの人権 110 番など様々な人権相談窓口を設けています。インターネットによる人権侵害に限らず、様々な人権問題についても相談を受け付けています。お気軽にご相談ください。

みんなの人権 110 番 (全国共通人権相談ダイヤル)

☎ 0570-003-110 (ゼロゼロみんなのひやくとおぼん)

最寄りの法務局につながります。

子どもの人権 110 番 (フリーダイヤル)

☎ 0120-007-110 (ゼロゼロなのひやくとおぼん)

「いじめ」や虐待など子どもの人権問題に関する専用相談電話です。

町民一人ひとりが相手を思いやり、多様な価値観を認め合う社会をめざしましょう。

「心温かい人々が暮らす、にぎやかな過疎の町」美波町であり続けるために人権について考え守っていくことがまさに、「にぎやかそ」美波町まちづくりにつながります。このコーナーでは人権に対する思いを掲載していきます。

ウミガメ No.21 News Letter

ウミガメの年齢と寿命

8月13日は日和佐うみがめ博物館カレッタで飼育中のアカウミガメ「浜太郎」の誕生日（ふ化日）です。昭和25年からウミガメの調査研究を始めた日和佐中学校科学部ウミガメ研究班の活動の中に、同年6月23日に甲長89cmのアカウミガメが大浜海岸で産卵した125個の卵のうち、人工ふ化実験に用いた30個からふ化した子ガメ達の1匹が現在の「浜太郎」であることが記録されています。その当時、情報も設備も予算もない中でアカウミガメの研究活動は手探りと手作りで行われました。特に、ふ化した子ガメ達に最初の冬の寒さを乗り越えさせる事は苦勞したそうです。そのために中学生達は、漬物用四斗樽を木箱に入れ、その隙間に保温材として木くずを詰めた飼育水槽を自作しました。加えて、ブリキ製の茶筒に白熱電球を入れて飼育水槽の水面から吊り下げて加温装置とし、飼育水槽の上には毛布をかぶせて保温したことが記録に残されています。現在では、水槽も加温

装置も普通に市販されています。また、インターネットで初めて見る生き物であっても、様々な情報を得ることも出来ます。すべてが豊かになった現代人として、当時の中学生達の「創意と工夫」には本当に驚かされます。中学生達の奮闘は、地域の皆さんや町の支援の下で受け継がれ、「浜太郎」は73歳の誕生日を迎えました。「このウミガメは何歳?」、「寿命はどの位?」という質問をよく聞きます。「浜太郎」に関してだけは、何歳と聞かれれば73歳と即答できます。年齢の分かっている、つまりふ化した日が判っているウミガメは他にもいますが、73歳という年齢は世界で最も高齢のアカウミガメになります。では、この後何年生きられるのか、つまり「寿命はどの位?」については、「浜太郎が生き続けるまで…」という曖昧な答えになってしまいます。現状の「浜太郎」は食欲旺盛、動きも活発で、まだまだ現役と思われまふ。大型リクガメのゾウガメでは150年位は生きるようですし、野生アカウミガメには「浜太郎」より大きい個体もいますので、アカウミガメもゾウガメと同じ程度の寿命ではないかと想像しています。もしそうならば、「浜太郎」の飼育を次の世代に引き継がなければなりません。そのためには、まだまだウミガメについて学ばなければならないことは多くあり、飼育を始めた中学生達に負けず、「創意と工夫」で向き合わなければなりません。(館長：平手康市)

うみがめについての質問をお送りください。お答えします!
〒779-2304 徳島県海部郡美波町日和佐 浦369 うみがめ博物館カレッタ「質問係」



応募フォーム

Question

どうしてウミガメの年齢や寿命は判らないの?

Answer

木の年輪の様に1年間に成長した跡は骨に残りますが、骨は中心から外に成長しながら、中心の部分は分解されて空洞になってしまうため、大きく育つほどウミガメの年齢は判らなくなり、寿命を調べることも難しくなります。

みなみの海のいきもの図鑑

太平洋に面する美波町では多くの生き物たちが生息しています。このコーナーでは実際に撮影してきたリアルな写真と共にいろいろな生き物たちをご紹介します!



イカの産卵



アオリイカの卵嚢①



アオリイカの卵嚢②



コウイカの仲間の卵



卵内のコウイカの赤ちゃん

初夏から夏にかけてアオリイカが繁殖のために沖合から沿岸にやってくるので、時々水中で遭遇します。6月末頃、アオリイカの卵を見つけました。今回は沈んだ木の枝に産み付けられていましたが、海藻などに産卵することもあります。白い半透明の細長いものを「卵嚢」と言い、その一つの卵嚢には3～10個の卵が入っています。メスは4～7回産卵し、卵は20～30日で孵化します。寿命が1年のアオリイカは、産卵後に一生を終えます。

別の場所にはコウイカの仲間の卵も発見しました。アオリイカとは違い、カプセルのような卵を一粒ずつ産み付けていきます。卵の中をよく見ると、コウイカの形になってきている赤ちゃんが確認できました。孵化したイカの赤ちゃん達はプランクトンや小型のエビ、カニ類を食べて大きくなり、1年後には産卵できるまで成長します。(ダイバー：長楽美保)